

【取り組み例1】

同じ種別（通所介護）の事業所でユニットを形成した，OJT手法による人材育成の研究
<ユニット>

- A市内にあるNPO法人 通所介護事業所 a
- A市内にある社会福祉法人 通所介護事業所 b
- B市内にあるNPO法人 通所介護事業所 c
- C町内にあるNPO法人 通所介護事業所 d
- D町内にある有限会社 通所介護事業所 e

< 5 事業所の共通の課題 >

「若手職員が定着しない。日々の業務に追われて，どのように職員研修プログラムを立ててよいかわからない…。介護サービスについて，新人職員にアドバイスできるリーダー職員を育てたい。」

< 実施内容 >

- 担当職員の定例的な勉強会（情報交換など）を行う。
- 県外講師E氏を招き，OJTについての合同研修会を開催する。
- アドバイザーとして，県外講師E氏に各事業所の介護サービスの現場に入ってもらい，OJTの実践について具体的なアドバイスをもらう。
- 事業所間での交換研修を行う。
- 各事業所で職員研修プログラムを作成し，実施・振り返りを行う。

【取り組み例2】

同じ地域の福祉サービス事業所や施設でユニットを形成した，求人活動

<ユニット>

- A町にある社会福祉法人 保育所 a
- A町にあるNPO法人 児童デイサービス事業所 b
- A町にある株式会社 認知症高齢者グループホーム c
- A町にある社会福祉法人 特別養護老人ホーム d
- A町にある社会福祉法人 身体障害者授産施設 e

< 5 事業所の共通の課題 >

「毎年定期的な職員の採用はないが，職員を募集してもなかなか集まらず，効果的な求人活動をいかにしたらよいか悩んでいる。また，地域の中の社会資源の一つとして，住みよい町づくりに貢献したい。」

< 実施内容 >

- 高等学校等で出前福祉講座を行う。
- 合同職場説明会を開催し，個別面接も行う。
- 合同職場説明会で関心をもった方に，職場体験ツアーを実施する。
- 地方新聞に求人と施設紹介の折り込み広告を載せる。
- やりたいことはあるけれど，どこの事業所と組んだらよいかわからないという場合や，具体的に何をしたらよいか悩んでいるという場合もご連絡ください。ユニットの形成や取り組みの企画，補助金申請の仕方等，本会のコーディネーターが相談に応じます。